



健全な経済発展を 阻害するもの

柴生田 晴四

(経済倶楽部理事長)

▼前任の浅野に替わり、6月から理事長に就任いたしました。80年を超える当経済倶楽部の活動をさらに発展させ、会員の皆様にご満足いただけるよう専心努力していく所存です。どうかよろしくご指導ご協力の程を、お願いいたします。

▼経済倶楽部は、1921年に東洋経済新報社によって設立されました。設立後は別個の独立した組織として活動することになりましたが、その狙いとするところは、「無形の東洋経済新報」であり、雑誌の形では届けることのできない生の情報を読者に提供すること

にありました。

▼設立された1921年は満州事変の勃発した年でもあつた。東洋経済はかねてから海外の領土と権益の拡大によって国を発展させようとする「大日本主義」を批判し、通商を通じて経済の発展を目指す「小日本主義」を主張してきました。しかし、政治の混迷が軍部の膨張と独走を許し、次第に準戦時下に移行していく中で、言論統制が強まって行きました。そうした中で、経済倶楽部はコアな読者に誌面では提供し切れない正しい情報と言論を提供する貴重な存在になったのです。

▼1895年に創刊された「東洋経済新報」(後に「週刊東洋経済」と改題)は、創刊の辞の中で、「健全なる経済社会の発展に貢献する」ことを発刊の目的として掲げました。そして「健全なる経済社会は健全なる個人の発達に待たざるべからず」として、個の確立した社会を実現するために必要な情報と理論の提供を目

指したのです。

▼市場における自由な競争を通じて効率的な資源配分を実現することが、自由経済の基本です。国家によるいらざる統制や資本の横暴は、自由な競争を阻害し、経済の発展を阻害するものでしかありません。しかし、自ら考え、健全な判断を下して行動する経済主体が存在しなければ、健全な経済社会も形成されないでしょう。

▼アベノミクスの成否は第三の矢である「成長戦略」に係っていると、多くのメディアや識者が指摘しています。しかし、成長戦略を政府や役人に描いてもらうことをどこかで期待しているとすれば、それは愚かなことです。民間企業の活動を活性化させて経済成長を高めることでしか道は開けないでしょう。

▼医療、介護、労働(雇用)、教育、農業など、これから内外の市場拡大が期待できる分野は、いずれも民間の活動が制約され、市場の発展が阻害されている分野

です。

▼しかも、これらの分野こそが、危機に瀕している国家財政の悪化の要因なのです。劣悪なサービスを生んでいる既存の体制に終止符を打ち、官によると既得権益の保護を排除して、競争の導入によるサービスの向上を可能にする効率的な制度へ移行を図るしかありません。

▼現代では自由な言論は保証されています。しかし、メディアのみならず、インターネットの普及に伴う情報の氾濫は、何が重要で、何が正しい情報なのかという判断をきわめて難しくしています。活字や放送、そしてインターネットの中の情報を知らず知らずのうち

に真実であるかのように受け止めてしまう危険に取り巻かれています。▼その意味で直接話を聞くというプリミティブな行為が再評価されています。経済倶楽部も良質で有益な講演会を追求して参ります。